

「令和7年度日本製材技術賞」 表彰式の開催

① 日本製材技術賞及び受賞者の概要

日本製材技術賞は、品質・性能の確かな木材製品の供給への貢献が期待できる製材工場を顕彰する表彰制度で、令和6年度に一般社団法人全国木材組合連合会が創設しました。

2年目である今回は、151工場から応募があり、生産性や独自性、品質向上の取組、雇用環境の整備等、多岐にわたる製材工場の取組内容が審査された結果、10工場が特賞を受賞し、40工場が奨励賞を受賞しました。

このうち、農林水産大臣賞と林野庁長官賞の受賞者について、ご紹介します。

受賞者一覧

◆農林水産大臣賞

岸田木材株式会社(富山県)

◆一般社団法人全国木材組合連合会会長賞

株式会社ヤマムラ(山形県)

株式会社滝川(愛知県)

三河材流通加工事業協同組合(愛知県)

株式会社三栄(兵庫県)

◆林野庁長官賞

山下木材株式会社(岡山県)

株式会社さつまファインウッド(鹿児島県)

◆審査委員会特別賞

協同組合いわき材加工センター(福島県)

NISMOC株式会社(徳島県)

株式会社サイプレス・スナダヤ(愛媛県)

農林水産大臣賞

岸田木材株式会社(富山県)

平成19年からの、ロシアによる丸太輸出関税引上げを契機に、ロシア材を中心とした製材から国産材の活用へと転換を推進。また、ボカ杉と呼ばれ、大径化が進む地域材の利活用を目的とした「ひみ里山杉活用協議会」を平成24年に立ち上げ、「ひみ里山杉」としてのブランド化や利用拡大に貢献。



特賞受賞者による記念撮影

林野庁長官賞

山下木材株式会社(岡山県)

蒸気式乾燥機による高温短時間の木材乾燥により、色艶を保ちつつ、内部割れの少ない商品を実現。

株式会社さつまファインウッド(鹿児島県)

天然乾燥工程を取り入れることで、人工乾燥期間を約半分に短縮し、品質の安定化に加え、エネルギー消費の抑制を実現。



農林水産大臣賞を受賞した岸田木材株式会社(左)

② 表彰式の開催

「令和7年度日本製材技術賞」の表彰式は、令和7年11月19日(水)、木材会館(東京都江東区新木場)7階大ホールにおいて開催されました。

農林水産大臣賞を受賞した岸田木材株式会社からは、「農林水産大臣賞を受賞し、大変光栄です。地元スギ材を「ひみ里山杉」としてブランド化して利用拡大を進めてきており、今後も、地元材を活用した製材生産に取り組んでいく所存です」との謝辞が述べられました。